

ID=15906

2015 年度開講科目

調査実習概要報告書

2016 年 3 月 31 日

科目担当者氏名 (ふりがな) さかなし じゅん 坂無 淳 印		科目担当者連絡先 (メールアドレス)	
連絡責任者氏名 (ふりがな) あさおか まこと 朝岡 誠 印		科目設置機関名 立教大学コミュニティ福祉学部	
授業科目名 社会調査実習	科目認定番号 RIKF-150701-0	受講者数 25	

I. 調査実習に関するコメント

学生が果たした役割や実習全般に対する感想など：学生は、調査の企画（先行調査の収集、調査テーマの決定、調査設計、仮説構築と調査票作成）、調査（実査とデータ入力・クリーニング等）、分析（分析と報告書作成）の全ての作業を行った。教員と TA は指示と統括を行った。受講者数が多かったが、作業の都度グループ分けするなどした。調査テーマは学生に身近で関心の高いテーマであり、受講者の質問項目が調査票に反映できたため、受講生は企画から分析まで積極的に実習に参加していた。

II. 調査の企画・設計 (デザイン)

1. 調査のテーマ/領域：立教生の生活実態と意識に関する調査
2. 調査の内容/概要：大学生の生活実態や意識について調査を行った。大学生のうち、特に受講生が所属する立教大学コミュニティ福祉学部在籍生について、基礎項目のほか、携帯電話や SNS の利用、生活習慣、アルバイト、ボランティア活動、大学生生活満足度や将来設計などの大学生の生活の実態や意識について、把握することを目的とした。また、それらの変数の関連について、受講生各自の仮説に基づき、統計的な分析を行った。
3. 調査の範囲/対象 (量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入)：母集団は本学部在籍する学生 (2015 年 10 月 1 日現在の学部 1~4 年在籍者 1708 名) である。学生名簿が利用できないため、無作為抽出は行えず、本学部の 3 学科で開講する 7 つの授業内で、集合法による調査を行った。
4. 主な調査項目：性別、学年、現在の居住形式、通学時間、携帯電話やスマートフォン・SNS の利用実態、睡眠時間、勉強時間、運動習慣、食生活、友人や親との会話頻度、アルバイトの実態、ボランティア活動の実態、大学生生活満足度、進路希望先、ジェンダー意識、死生観、趣味・余暇活動の実態と意識 ほか

III. データ収集の方法と結果

5. データ収集 (現地調査) の方法：集合法。学生名簿が利用できないため、無作為抽出は行えず、立教大学コミュニティ福祉学部のコミュニティ政策学科、福祉学科、スポーツウエルネス学科開講の 7 つの授業内で調査票の配布・回収を行った。
6. 調査の実施時期・調査地・調査員の数：調査の実施時期は 2015 年 9 月下旬から 10 月上旬。調査地は埼玉県新座市の立教大学コミュニティ福祉学部。調査員の数は、受講者 25 名+教員 (1 名)・TA (1 名)。
7. 収集したデータの量と質への評価 (量的調査の場合は有効回収票数及び回収率を必ず記入)：有効回収票数は 374 名分 (2015 年 10 月 1 日現在の学部 1~4 年在籍者 1708 名中、回収率 21.9%)。他学部学生分を含めると 384 人分。授業で配布回収を行ったため、1、3 年生とコミュニティ政策学科の学生が多いが、男女の偏りは小さい。上記に留意し分析した。

IV. データ分析の方法と結果

8. データ分析/解釈の方法：SPSS を用いて、クロス集計・t 検定・分散分析・相関分析・重回帰分析などを行い、受講生各自で設定した従属変数と独立変数の関係について分析した。結果の解釈については、回答者の偏りに留意した。
9. 調査の成果 (調査から得られた主な知見など)：詳細は各学生のレポートを参照いただきたいが、主な知見として以下がある。大学生は大学内に限らず大学外で行われる各種の活動を組み合わせ、大学生生活を充実させている。例えば、アルバイトは 9 割程度の学生が行っている。また、ボランティアは 6 割程度の学生が参加し、震災復興や子ども関連のボランティアが多い。また、SNS は 9 割以上の学生が利用し、中でも LINE、Twitter、Instagram の利用が多い。
10. 報告書刊行の予定と概要：2016 年 3 月に調査報告書『立教生の生活実態と意識に関する調査』報告書』を発行した (244 ページ、約 100 部)。受講生各自 9 ページ程度のレポート、調査票、コーディングガイド、基礎集計を掲載した。

- <記入上の注意点>
1. 調査のテーマ毎に用紙を替えて (3 つのテーマを立てて実施した場合は合計 3 枚に渡って) 記入下さい。
 2. 最上部の*印の箇所には数字を (*/*) には、報告書が複数枚になる場合のみ、3 枚中の 1 枚目なら 1/3 とご記入下さい。
 3. 全ての項目について具体的にご記入下さい。但し、1 テーマ毎に印刷が必ず A4 サイズ 1 枚に収まるようにして下さい。フォントサイズは変えず (設定してある通りにして)、項目毎に分量に応じて「行の高さ」を変えることで調整していただけましたら幸いです。
 4. 報告書はウェブ上で公開する予定です。また、調査実習情報を DB 化することも検討しています。ご承知置きの上、ご記入下さい。